

①既婚者の大掃除実態

・結婚＆出産を機に衛生意識が高まる。普段の掃除を補完するため大掃除を実施。

2014年末の大掃除の実態をみると、**未婚者よりも既婚者の方が大掃除実施率が高く、さらに既婚者の中でも、配偶者のみの世帯よりも高校生以下の子どもがいる世帯の方が大掃除実施率が高い**ことが分かりました。未婚者も既婚者も、大掃除をした理由は「気持ちよく新年を迎えたいから」、「普段の掃除で行き届かないところをキレイにしたいから」の順ですが、どちらも未婚者よりも既婚者の方が数字が高くなっていました。**結婚や出産を機に衛生意識が高まり、大掃除に積極的に取り組むようになったことが、大掃除の実施率にも影響**したものと考えられます。

図1 : 未婚者・既婚者の大掃除実施率

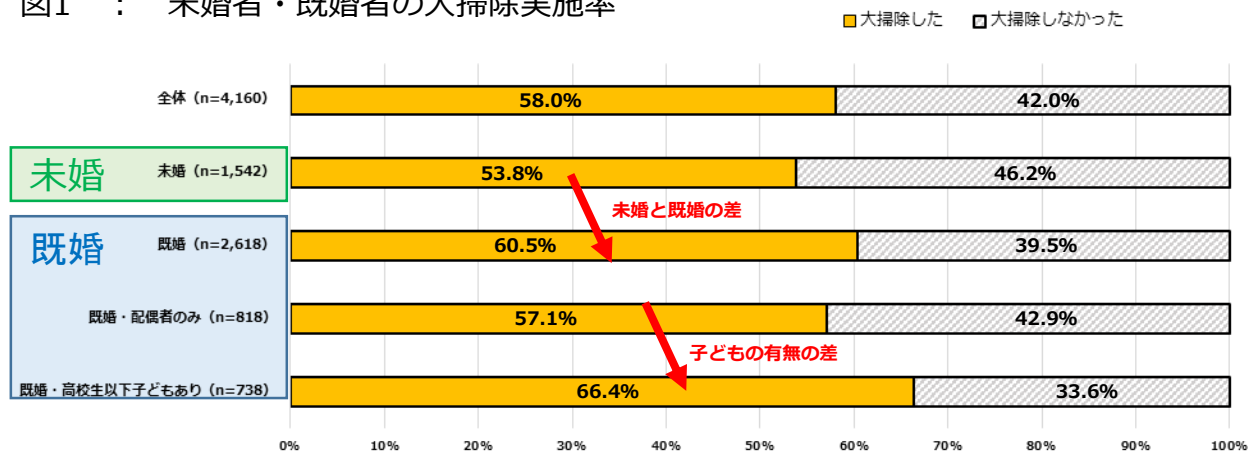
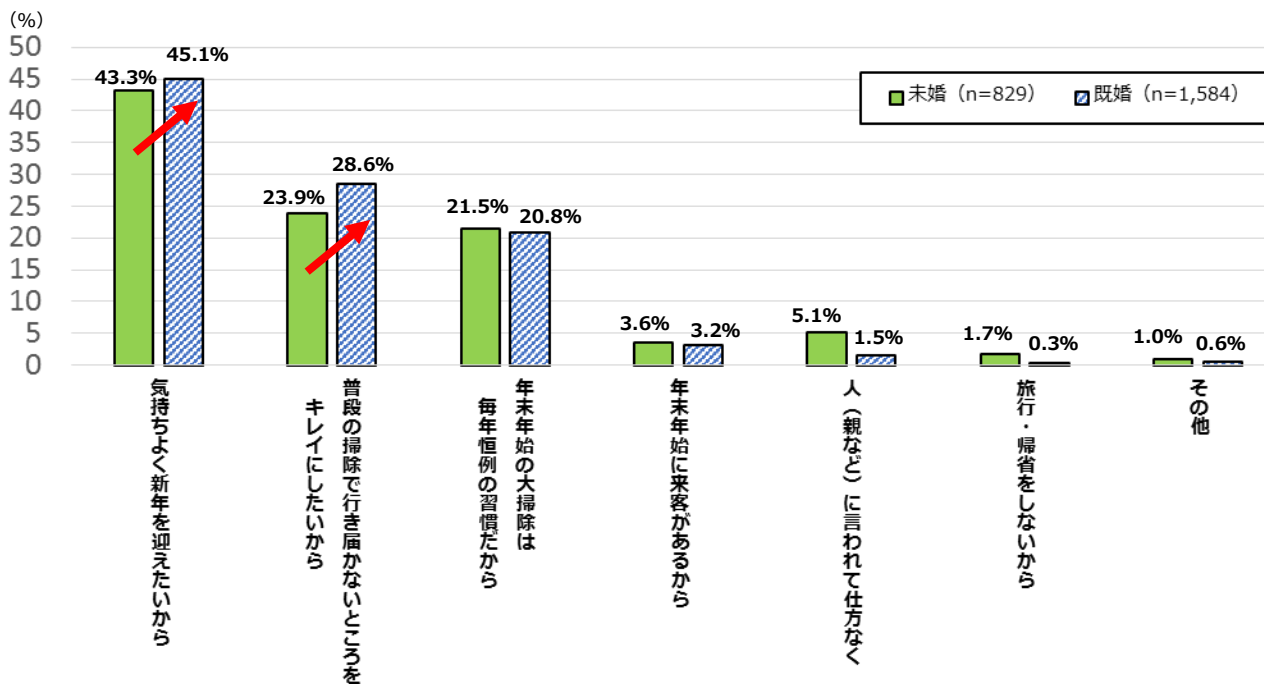


図2 : 未婚者・既婚者が大掃除をした理由



②大掃除での夫婦の役割分担

- ・夫の大掃除への取り組みは、“家族のために頑張る”責任感と“妻からの指示”が影響。

2014年末の大掃除を実施した既婚者を対象に、掃除を担当した場所と担当した理由を聞いたところ、**妻が担当した割合の高い場所は「キッチン」と「トイレ」**で、「**自分が一番よく使う**」、「**家族ができない・しない**」という理由が上位に挙げられました。一方、**夫が担当した割合の高い場所は「浴室」と「窓・網戸」**で、ともに「**家族がしない・できない**」、「**指示された場所**」が理由の上位でした。

これらの結果から、**夫の大掃除への取り組みは“家族のために掃除を頑張る”という責任感と、“司令塔としての妻からの指示”が影響**していることがうかがえます。

図3 : 既婚者が大掃除で担当した場所

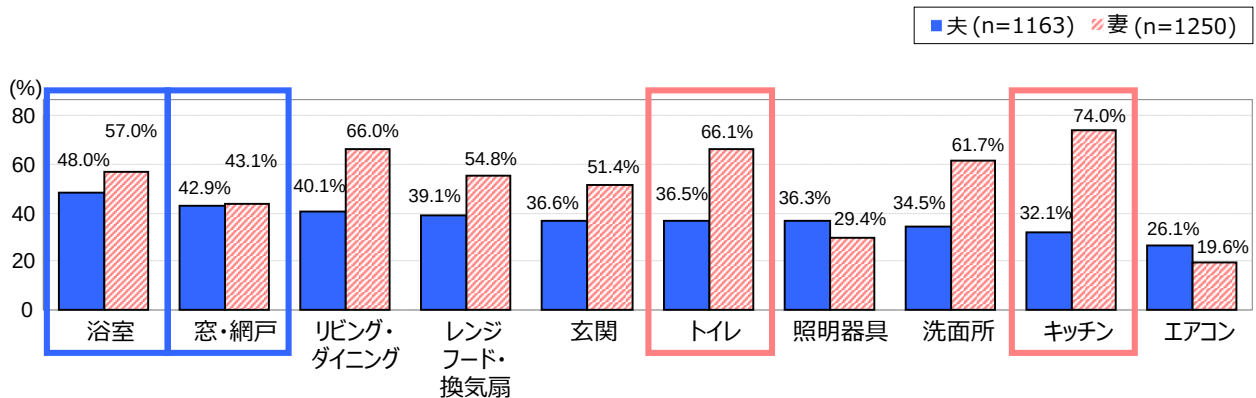


図4 : 既婚女性が下記の場所を担当した理由

キッチン (%)		トイレ (%)	
自分が一番よく使う場所だから	68.5	家族がしない／できない場所だから	48.7
家族がしない／できない場所だから	31.5	自分が一番よく使う場所だから	24.4
一番汚れている場所だから	10.9	掃除の仕方が分かりやすいところだから	10.9
(n=715)		(n=616)	

図5 : 既婚男性が下記の場所を担当した理由

浴室 (%)		窓・網戸 (%)	
家族がしない／できない場所だから	25.7	家族がしない／できない場所だから	41.4
指示された場所だから	23.7	指示された場所だから	22.2
自分が一番よく使う場所だから	14.9	一番汚れている場所だから	18.5
(n=350)		(n=324)	

③配偶者の大掃除の取り組みに対する満足度

- ・妻から夫への評価は3年連続減少。夫から妻への評価より約30ポイントも低い。
- ・積極性と掃除技術の差が、“デキる夫”と“デキない夫”の違い。格差は拡大中!?

2014年末の大掃除で、配偶者の取り組みに対する満足度を聞いたところ、**夫が妻の取り組みに対して「満足した」割合が72.3%**だったのに対し、**妻が夫の取り組みに「満足した」割合は45.3%**と、**男女で約30ポイントの差**がありました。さらに、**妻の夫への満足度は3年前から減り続けて**います。

また、夫の大掃除の取り組みに対する満足と不満足の理由を妻に聞いたところ、**満足した理由は「積極的に取り組んでくれた」**が最も多く挙げられ、それ以外に**「きちんと汚れが落ちた」、「手際が良かった」**など、**掃除の技術を評価する項目が3年前よりもアップ**していました。一方、**不満の理由は「大掃除に積極的ではなかった」**が最も多く、「きちんと汚れが落ちなかった」、「掃除の仕方が気に入らなかった」、「手際が悪かった」など、掃除の技術への不満も3年前よりも増えていました。これらの結果から、**大掃除に対する積極性と大掃除の技術の違いが“デキる夫”と“デキない夫”の違い**であり、その差が開き始めているのではないかと考えます。

図6 : 配偶者の大掃除の取り組みに対する満足度

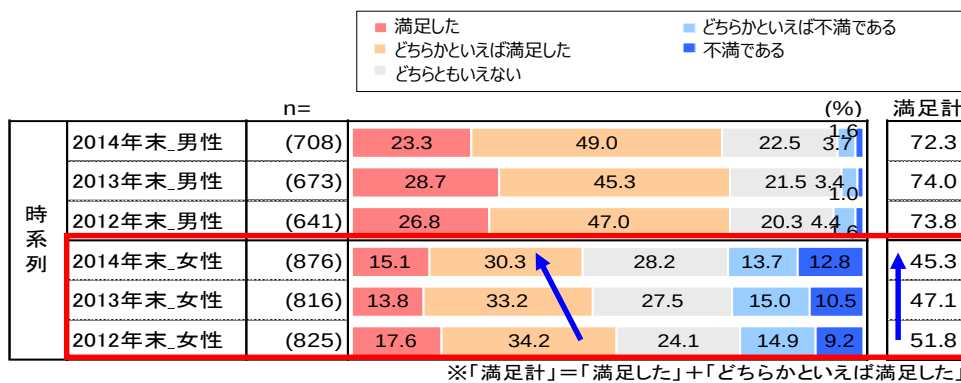


図7 : 夫の大掃除の取り組みに満足した理由

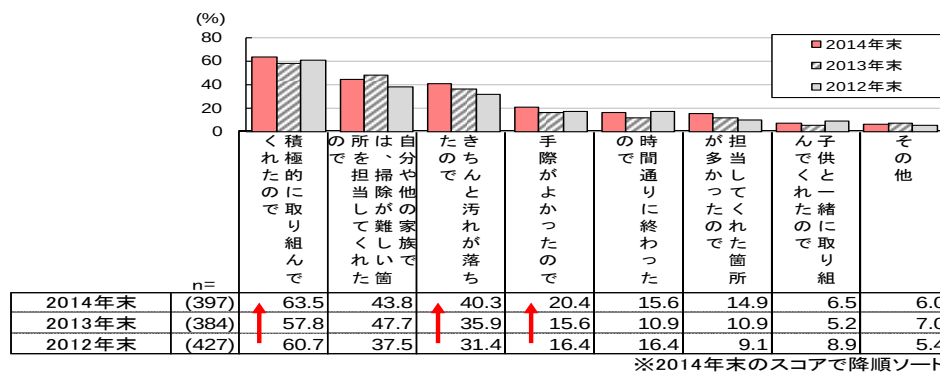


図8 : 夫の大掃除の取り組みに不満の理由

